

袋井市行革推進委 委員らが意見交換

市長辞令手渡す

第八期袋井市行政改革推進委員会の初会合が市役所であり、第二次行政改革後期実施計画(二〇二一〜二五年度)の策定に向け、委員らが意見を交わした。原田英之市長が委員代表

の石川春乃・静岡理工科大学教授に辞令書を手渡した後、会長に小泉祐一郎・静岡産業大教授、副会長に豊田浩子・丸尾興商専務をそれぞれ選出した。事務局による前期実施計

画の進捗状況の報告に続き、意見交換。委員からは「社会潮流などを踏まえて柔軟な計画に」「環境と財政にまたがる視点が大切」などの声が上がった。各種申請、届け出書類などの押印の廃止とデジタル化については「デジタル化で置き去りになる人がいないように配慮を」などの意見が出ていた。委員会は学識経験者や企業代表ら八人で構成。委員の任期は二二年三月末まで、二〇年度内に計画案の答申を行う予定でいる。(土屋祐二)